

# 広報 にゅうぜん

No. 312

昭和58年 8月 1日 発行

毎月 1回 1日 発行

発行所 入善町役場

富山県 入善町 入膳 3255

☎0765-72-1100(〒939-06)



ふれあい  
シリーズ

先生、このうどん  
すごくウマイな……

手打ちうどんで 心の触れ合いを

「今日は初めてだからうまくできなかったけど、市販のうどんよりずっとウマイや」——。入善中学校2年C組の生徒は、自分たちでこしらえた手打ちうどんを食べながら、こう話します。

担任の浜田輝靖先生が、土曜の午後を利用して、秘伝(?)の手打ちうどんの作り方を教える心暖まる光景です。授業を離れた触れ合いが、すごく新鮮に映りました。

8月号



# 『花』に を獲得

**入** 善町の合併30周年を記念して、3万町民が愛せる  
『町の花』をみなさんから郵便投票により募集し  
たところ、応募総数551票のうち227票を獲得した「チュー  
リップ」が、町の花に選ばれました。

第2位は、「ききょう」と「ひまわり」、以下、「し  
ばざくら」「きく」「サルビア」「ゆり」と続きます。  
(次のページの表を参照)



▲雪をいただく北アルプスの峰々と、いかにもマッチします。

## 花に 高い関心が 77種の花が寄せられる

開票が行われたのは、7月5日  
午前10時からで、会場は役場会議  
室。柚木町長、若島信行町議会総  
務委員長、そして、当日農政課へ  
用事でおいでになった矢木勝子さ  
ん(道古)を立会人に、開票を開  
始しました。

間もなく、「チューリップ」と  
書かれたハガキは、どんどん大き  
な束に……。それに比べて他の花  
は1〜5枚がほとんどで、多くて  
も第2位となった「ききょう」と  
「ひまわり」が、それぞれ23票と  
いう結果になりました。

チューリップ以外の花を選ばれ  
たかたがたには申し訳ないくらい、  
圧倒的な強さでチューリップが第  
1位の227票を獲得しました。  
応募総数の551枚は、決して高い  
数値ではありませんが、「入善町  
の花にしたい」と応募のあつた花  
は77種にも及んでいます。  
内容を見ても、野原や林など自  
然の中に根ざす花や、栽培される  
花など、みなさんが自然をつぶさ  
に観察され、「花と緑」「自然保  
護」に大きな関心をお持ちの結果  
と思われまます。

### 入善町自慢の花 チューリップ

晴れて町の花に選ばれたチュー  
リップは、多くの家庭で植えられ  
ており、郷土の春を「我が物顔」  
のように咲き誇る入善町自慢の花  
です。

そして、「私たちの生活にすっ  
かり溶け込んでいる」ということ  
を考えると、第1位となったのも  
不思議ではありません。

また、町内には栽培農家も多く、  
「入善町は県内でも有数のチュー  
リップ産地だ」という自負心が影  
響したのか、栽培農家のみならず、  
多くのかたがたから票が寄せられ  
ました。

### チューリップ

#### ぷるぷいーる

チューリップは世界のどこでも、  
大衆の花として普及し人気があり  
ます。一般的にはオランダを連想  
しますが、トルコから中央アジア  
の原野に生育していたといわれま  
す。それが16世紀ごろに、ヨーロ  
ッパに伝わり、改良されたものだ  
そうです。

入善町では昭和12年ごろから、  
数戸の農家が水田裏作として球根  
の生産を始めました。間もなく太  
平洋戦争に突入し、食糧の供出割  
当てを受け、花を植える者を「非  
国民」呼ばわりされた時勢でも、  
困りから見えないよう、麦畑の中  
に隠して植えたといわれます。

本格的に栽培が始められたのは、  
昭和22年からです。現在では、50  
戸の農家が90ヘクタールもの面積  
でチューリップを栽培しており、  
出荷球数は1千22万球にも達して  
います。

これは富山県全体で、栽培農家  
13軒、栽培面積120軒、出荷球  
数121軒を占めています。  
花言葉は、「魅惑」「博愛」。  
国際的に発表されている品種は約  
2千800種といわれています。

# チューリップが『町の

## 応募数551票中227票

### ■「町の花」の応募状況

| 花名                        | 票数  | 票数  |
|---------------------------|-----|---|
| チューリップ                    | 227 | 5票……3種<br>ほたるぶくろ、さぎそう<br>まつばはたん           |
| ききょう                      | 23  | 4票……4種                                    |
| ひまわり                      | 23  | つつじ、パンジー                                  |
| しばざくら                     | 17  | りんどう、ヒヤシンス                                |
| 菊                         | 15  | 3票……7種                                    |
| サルビヤ                      | 15  | なでしこ、マリーゴールド                              |
| ゆり                        | 15  | はなしょうぶ、すみれ<br>ルピナス(のぼりふじ)<br>しゃくやく、グラジオラス |
| (ササユリ、スカシユリ、テッポウユリ等)      |     |   |
| あじさい                      | 13  | 2票……14種                                   |
| コスモス                      | 11  | はまひるがお、れんげそう                              |
| たんぽぽ                      | 11  | しょうじょうばかま<br>もじずり、かたくり                    |
| すいせん                      | 10  | あやめ、すずらん、あざみ                              |
| みやこわすれ                    | 8   | ぼたん、あおい、ふじ<br>こぶし、のうぜんかずら                 |
| 7票……4種                    |     | 1票……29種                                   |
| あさがお、くろつめくさ<br>かすみそう、さざんか |     | 合計……77種                                   |
| 6票……4種                    |     |   |
| かわらなでしこ、ばら<br>マーガレット、さつき  |     |   |

### サギソウなど

#### 懐しい花が登場

さて、惜しくも(?) 選外となった花を幾つか見てみましょう。沢杉林のわき水の近くに、鷺が両翼を広げ群舞するかのようには咲いていたサギソウ……。いまは絶滅していますが、「ぜひ町の花に選びたい」と書き添えてありました。

いま、黒部川の川原や墓ノ木自然公園などに、薄紅色の上品な花を咲かせているカワラナデシコを保存普及させたい、との提案もありました。  
1万年前の埋没林で知られる吉

原海岸をはじめ、侵食で無くなる前の砂浜に一面に咲いていたハマヒルガオは、潮風にも絶対に負けない根強さがあり、「入善町のシンボルとしてピッタリ」との投票もありました。

かつては、町のどこにでも小川があり、澄んだ水のほとりにひっそり咲いていたホタルブクロ……。『ぜひ子どもに残してやりたい』などと、5人のかたから投票がありました。

このほか、しばざくら、ひまわり、さきょう、あじさい、コスモスなどは、誰にでも咲かせることができ、広く愛され、親しまれている花として、多くの投票がありました。

### 埋め尽くそう

#### 花と緑で

日本に自生する植物の数は6千〜7千種で、世界第3位といわれます。こんな日本で生まれ育った私たちは、花と共に暮らし、生活の一部にしてきたほどです。

例えば、万葉集には150余種もの植物が詠まれ、昔も今も、室内に花を生ける華道の伝統があります。また「春の七草」を食べ、「秋の七草」をめでてきました。

「花愛する者に罪人なし」ともいいます。3万町民の参加と協力で、入善町を花と緑で埋め尽くそうではありませんか。

### こんな理由で

#### 選びました

#### 子ども

からお年寄りまで、誰もが咲かせることができ、春を運んでくる。

#### 花がき

れいで町のイメージにぴったり。ルンルン気分の花である。

#### 県下で

も2番目の栽培面積があり、県の花にも選ばれている。

#### 長い冬

にも負けず根性があり、町民の性格に合う。

#### 他県か

ら来た人は、一面のチューリップのじゅうたんに強烈な印象を持つ。

#### 地域の

特産物としてこれ以上のものはない。何十年もチューリップづくりに苦労してきたので、町の花にしたい。

#### どこか

のカメラマンが、砺波のチューリップより、入善のチューリップがきれいだと言った。

#### 咲きほ

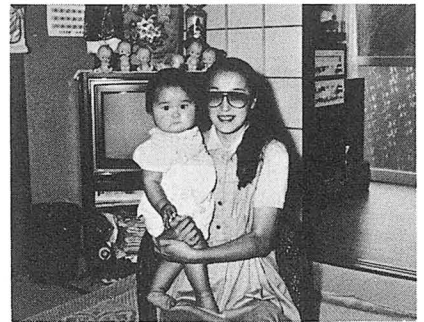
こるチューリップは、町民の心の暖かさ、明るさを象徴している。

#### 色とり

どりに咲く圃場に立つと極楽浄土へ来たよう、心が安らくなる。

入善はいかがですか？  
 愛場 初めてこの町を訪れたのは、結婚前の56年夏です。第一印象は、夫から聞かされていた以上に「いなな」だったことです（失礼）。でも実際に住んでみると、人情が厚く、「これが本当の入善町民の姿なんだ。入善に嫁いでよかったナ」と、つくづく思います。  
 郷里の紹介を。  
 愛場 道南に位置し、函館市に

**とから見たにゅうぜん**  
 舟見6区にお住まいの愛場綾子さん(26歳)は、北海道のご出身です。昨年3月、結婚と同時に入善町に。1年余りの印象を伺ってみました。



## 遺跡の公園化に向けて

### じょうべのま遺跡を発掘調査

田中地区にある国の指定史跡・じょうべのま遺跡の発掘調査が、7月21日から26日まで現地で行われました。

この調査は、同遺跡の公園化に先立ち、未発掘地区における遺溝や遺物を調べ、今後の基本設計に役立てようというものです。

## 日本の球根栽培法は？

「日本では、球根栽培をどのようにやっているんだろう」と、オランダの青年が、7月8日から10日間、上野の農業・目沢博文さん(25歳)宅に滞在しました。

アナボロナ国立園芸大学3年のエバートさん(21歳)がこの人で、球根の皮むき、梱包、出荷作業と、大忙しの10日間でした。



## 人気上昇中です 恒例の「かあちゃん夕市」

新鮮で安さが売り物の「かあちゃん夕市」が7月15日、25日、中央公民館前で開かれました。

町農村婦人グループが、キュウリやジャガイモ、海産物、漬け物などを並べて開店。買物客の中にはかごいっぱい買い込む人も。なお、8月5日にも午後4時から行われます。

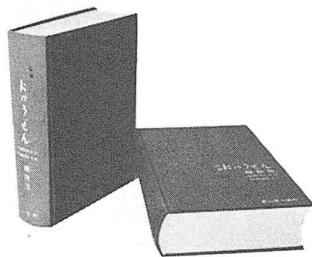


|      |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |     |     |    |
|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|-----|-----|----|
| 新屋   | 青木   | 田中   | 田中   | 上野   | 新屋   | 福島   | 小摺戸   | 木根   | 道市   | 入膳   | 入膳   | 上野   | 入膳   | 下飯野  | 入膳   | 浦山   | 下山   | 中沢  | 上野   | 上野   | 入膳   | 道市  | 住所  |    |
| 山本雅美 | 森下政義 | 田中伸一 | 田中伸一 | 塚田健一 | 永井博章 | 松嶋孝司 | 長谷川時夫 | 高沢三男 | 荒田輝行 | 須貝正志 | 梶木正晴 | 松田正晴 | 紺田健仁 | 野坂徹雄 | 野口範仁 | 中易松拓 | 袖野敏昭 | 金森優 | 中瀬剛一 | 元島正隆 | 石田裕一 | 西村実 | 保護者 | 続柄 |
| 長女   | 長女   | 二男   | 長男   | 長男   | 長女   | 長男   | 長女    | 長男   | 長男   | 長女   | 長女   | 長男   | 長男   | 長女   | 長女   | 二男   | 長男   | 二女  | 二女   | 長女   | 長男   | 二女  | 美穂子 | 名前 |
| 杏里   | 貴子   | 康介   | 健太   | 克弘   | 香織   | 和也   | 千夏    | 和俊   | 康裕   | 直美   | 美穂   | 慎太郎  | 啓一郎  | 朋江   | 明日香  | 知大   | 丈晴   | 洋子  | 公子   | 央子   | 剛志   | 美穂子 | 名前  | 前  |



カメラ・とびつくす カメラ・とびつくす カメラ・とびつくす

# 予約数1,996冊に 広報の縮刷版



広報紙の創刊号から 307号までを1冊にまとめる『広報にゆうぜん縮刷版』を予約受付けしていましたが先月末で締切った結果、1,996冊の申し込みがありました。

広報係では、10月初旬に購入希望者に届くよう編集を進めています。また、購入代金は、区長さんを通じて現物と引き換えにいただきますので、よろしくお願ひします。

なお、申込みの取りまとめをしていただきました区長さんがた、また、この縮刷版の購入にご賛同くださったかたがたのご理解に、深く感謝申し上げます。

特急列車を  
利用しましょう

往復切符・定期券は  
入善駅で買ひましょう

**入善駅利用促進協議会**

——入善と郷里を比べると？

愛場 結婚式が余りにも豪華すぎます。北海道ではほとんどが会費制で行われ、会費もほんのわずかです。披露宴には、近所の人、親せき、友達など、呼べる人はほとんどん呼び、総勢で300人ぐらひはザラです。でも、祝品に出されたカマボコの大きさには本当にびっくりしました。

また、70歳を過ぎて田畑に出たり、山菜採りに山へ出掛けるお年寄りが多く、「よく働くな」と思います。あちらではノンビリしていますヨ。



## 県大会で3位 ママさんソフト 『入善クラブ』

話はちょっと古くなりましたが、6月19日、朝日総合グラウンドで行われた第3回全国家庭婦人ソフトボール富山県大会で、「入善クラブ」が、第3位に入賞しました。

2回戦で藤ノ木クラブ(富山)、3回戦で新庄スカイレディース(富山)を破り、準決勝では優勝した福光ファインズと対戦し、1対6で惜しくも敗退しました。

入善クラブは、町内のソフトボール愛好者が集まって昨年7月に結成されたもので、昨年の女子ソフトで次勝、今年の第1回ママさんソフトで優勝と、町内ではナンバーワンのチーム。

「県西部のチームは、高校時

代からやっていた選手が顔をそろえており、圧倒的に強いですネ。でも、初出場で第3位になれたんだから、まあまあですネ」と、監督の柴垣久光さん(入膳・52歳)は満足そうです。

家庭をあずかる主婦のため、練習はいつも家事を終えた後の夜8時。運動公園の陸上競技場で、ナイター野球の明りを利用して、球を追いかけています。

「時間的にも場所的にも恵まれていませんが、トウちゃんの理解があるからこそソフトができるんです。そのためにも来年はぜひ優勝したいですネ」と、張り切るみなさんです。

|       |       |      |      |       |      |       |      |      |      |      |       |      |     |      |      |      |      |      |     |
|-------|-------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|
| 櫛山新   | 東五十里  | 木根   | 高畠   | 入膳    | 上飯野新 | 新屋    | 野中   | 舟見   | 入膳   | 田中   | 道市    | 吉原   | 入膳  | 今江   | 櫛山   | 舟見   | 舟見   | 舟見   | 住所氏 |
| 前田久太郎 | 五十里つよ | 笹原はな | 日向政吉 | 竹内久太郎 | 大野フミ | 藤田フミ子 | 大面きよ | 板谷めり | 紺田啓作 | 田中千一 | 宮本かずゑ | 保要伝治 | 泉俊一 | 盛山茂樹 | 長島幸吉 | 長川いと | 西尾みよ | 滝本きく | 名年齢 |
| 86    | 94    | 82   | 70   | 87    | 69   | 54    | 74   | 84   | 70   | 68   | 81    | 56   | 70  | 46   | 83   | 83   | 93   | 81   | 世帯主 |

(7月15日受付分まで)



▲「いつまでも元気であるよ。」という願いをこめて標柱を立てる。(杉沢睦夫さん宅で)

## 『緑を大切に』ネ!!

町では、緑豊かな公園都市にふさわしい環境づくりの一環として、昭和55年10月に「町保存木」として28点を指定しましたが、このほど新たに17点を追加指定しました。

5月末に、町保存木調査委員ら6人が、大きくて樹齢の高いものを中心に、町内の寺の境内や個人の庭などを調査しました。その結果、養照寺(小野常正住職)のケヤキ、浄蓮寺(玉池流心住職)のヒイラギなど、単独木14点、並木3点、合わせて17点を指定したものです。調査にあたったのは、富山県植物友の会々長の大田弘さん、同副会長で高校教諭の小路登一さん、町内の樹木に詳しい小森仁作さんら6人です。

### ■追加指定された「町保存木」

|      |      |                      |      |      |             |
|------|------|----------------------|------|------|-------------|
| 小野常正 | 入膳   | ケヤキ(2本)              | 嶋田久一 | 板屋   | クスノキ        |
| 光林恵遠 | 上野   | ツガ                   | 滝本清吉 | 蛇沢   | ユズ(2)、紀州ミカン |
| 玉池流心 | 上野   | ヒイラギ<br>ヒラカサド<br>ウダン | 広瀬武吉 | 高畠   | スダジイ        |
| 杉沢睦夫 | 目川   | スダジイ                 | 広瀬義孝 | 高畠   | スダジイ        |
| 飯田勲  | 上飯野新 | ケヤキ                  | 米島邦彦 | 下飯野新 | キンモクセイ      |
| 鍵田正彦 | 東狐   | ドウダンツツジ              | 鍋島利直 | 下山   | エノキ         |
|      |      |                      | 森島憲秀 | 横山   | ゴヨウマツ、クス    |

を立て、所有者ばかりでなく町民全体に「緑の大切さ」をPRしていきたいと考えています。

なお、前回指定した保存木のうち、伊林トメさん宅(小摺戸)のケヤキは伐採され、円林寺(新屋)のトラヨウは移植されました。

## 保存木に

## 17点を追加指定

## お知らせ



### 催物

いちだんと華かに  
入善七夕祭り

恒例の入善七夕祭りは、8月4日から7日まで入膳商店街を中心に開催されます。今年はこちらまでの催物に加えて、新たに「ソックリショー」「綱引き大会」「ミス西瓜コンテスト」「北日本民謡大会」など盛りだくさんです。ご家族で、グループでぜひお越しください。▼8月4日：ジャンケン大会、楽団演奏会、ニジマス釣り大会、自動車ショー、チビツ子のど自慢大会▼8月5日：入善ジャンボ西瓜フェスティバル、美空ひばり・小林旭ソックリショー、カラオケ大会、ミニSL列車、漫画映画会▼8月6日：ミス織姫コンテスト、ミス西瓜コンテスト▼8月7日：盆踊り大会、綱引き大会、西川品ショー、北日本民謡大会、▼催物の開始時間は、いずれの日も午後7時頃からです。



### 案内

みんな集まれ  
奉仕サイクリング

小・中学生の諸君、夏休みをエンジョイしているかな？夏の早朝、町内のキャンプ場の清掃に出かけてみないかい……。▼8月7日(日)：墓ノ木キャンプ場▼8月28日(日)：園山キャンプ場▼時間：中央公民館前に朝5時50分まで集合(キャンプ場の近くの人は現地集合7時)

# 善意の窓

あたたかいご芳志に感謝いたします。

入善町善意銀行（敬称略）

（5月11日～7月12日）

## ■ 社会福祉事業資金に

|       |                     |         |   |
|-------|---------------------|---------|---|
| 横山    | 板沢 祐作               | 5,000   | 5月分                                     |
| 入膳    | 匿 名                 | 10,000  |   |
| 中沢    | 中島 幸子               | 100,000 | 亡夫久雄の供養として                              |
| 東狐    | 匿 名                 | 7,620   |   |
| 櫛山    | 富山県移動商業組合<br>代表倉田行雄 | 10,000  | 武村福祉会館<br>当直手当の一部を<br>一年間の積立金を          |
|       | 故長島清松               | 3,200   |   |
| 入膳13区 | 米沢和哉一同              | 20,000  | （6月分）<br>チャリティー花嫁コレ<br>クションの収益金の一<br>部を |
| 入善    | 匿 名                 | 10,000  |   |
| 黒部市   | モリ美容院<br>代表森 年子     | 150,000 | 不用品交換会の収益金                              |
| 入善    | 入善地区婦人会             | 50,000  |   |

## ■ 舟見寿楽苑へ

|      |       |         |             |
|------|-------|---------|-------------|
| 宇奈月町 | 長川 政信 | 30,000  | 亡母いととの供養として |
| 朝日町  | 筒井 勇  | 100,000 | 亡母みさの供養として  |
| 黒部市  | 山崎 一郎 | 20,000  | 運営資金として     |
| 蛇 沢  | 滝本 健一 | 100,000 | 亡母さくの供養として  |

## ■ 物品の部

|       |            |                             |         |
|-------|------------|-----------------------------|---------|
| 東 狐   | 笹島 良雄      | 洗濯機 1台                      | 一般貸出し   |
| 入膳6区  | 寺崎 菊枝      | タオル80本<br>バスタオル6本           | 舟見寿楽苑へ  |
| 入膳12区 | 森田 勝幸      | 古衣類 9点                      | 新川むつみ園へ |
|       | 富山県SSTグループ | タオル10本<br>セッケン20コ<br>雑布 56枚 |         |

# “心の暖まるものを…”

## 会社からの報償金を寄付する

### NECミューSSTグループ

本紙“善意の窓”欄に、『NECミューSSTグループ』という名で、石けんや雑きんを寄付する団体がありますが、「変わった名前だな。何をやっているグループだろう？」と、首をかしげる読者もあろうかと思えます。そこで富山日本電気に出かけ、直接そのグループに会ってみました。

正体は、第1製作課・第1系の従業員のうち20名で、社内のQC活動サークル（会社の生産に少しでも役立つような提案を考える小集団）のうちの1つです。

サークルが会社に業務改善案を提出することで、その効果金額に応じて支払われる報償金を積立てし、それを善意に換えているとのこと。

「最初は現金で寄付していましたが、“何か心の暖まるものを”ということで、現金をタオルや石けんに加え、自分たちで雑きんを縫ったりして善意銀行に届けています」と、グループの世話役である右井鈴子さん（入膳・34歳）は話します。

今月も、タオル10本、石けん20個、雑きん56枚を新川むつみ園へ指定寄付。「そのうち、おはぎやお団子を作って、施設を訪ねたい」と張り切る皆さんです。



# お知らせ

## 植物の名を教えます

### 自由研究に役立つ「植物同定会」

◆小・中学生の皆さん、自由研究のテーマは決まりましたか。今年の夏休みは、植物の採集をしてみませんか。図書館では次のとおり「植物の名前を教える会」を開きます。また、日ごろから植物で疑問をお持ちのかたも、この機会にぜひ来館を。▼日時：8月26日（金）・27日（土）午前9時～午後4時30分▼会場：入善町立図書館（福祉会館2階）▼講師：大田弘先生、小路登一先生。

## PTA教育無料相談

▼8月4日（木）：「心と発育」田中昭人（黒部学園次長）、「学習」小路みつ子（富山教育事務所指導主事）▼8月18日（木）：「学習」：高見京子（黒東小学校教諭）、「生活」：松田教雄（入善中学校教諭）▼時間：午後5時30分～7時30分▼場所：福祉会館2階会議室



## 募集

### 走れ！ぼくらの冒険旅行

### 夏休みミステリー列車

入善町では、今年の夏休みに「夏休みブルトレイン・ミステリー列車」を運行します。行先はミステリー列車のため不明です。どうか楽しい一日を過ごしてください。▼期日：8月22日（日）帰りの▼定員：400名（定員になり次第締め切り）▼参加費：小人4千500円、幼児500円、大人6千500円▼申込先：入善町 72-10055

# 私たちの広場

ご意見などを  
お寄せください

この広場は――

- ご意見 ●イラストやマンガ ●ゆずります・ゆずってください ●グループの紹介……などに利用したいと考えています。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

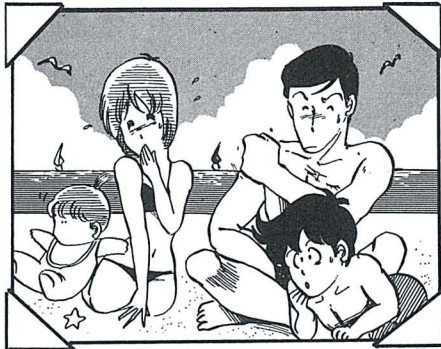
広報係 ☎72-1100内線39

## ▶その6

『お母さんの水着姿  
見て赤くなってる!!』

イラスト

泉 裕子さん  
(高3・上野)



この梅雨が明ければ、毎年楽しみにしている夏の帰省も目の前。先日、「もうすぐ入善のおじいちゃんの家へ帰るね」と、浮き浮きしながら4歳の息子に言ったところ、「帰るじゃないでしょ。行くでしょ」と言い返され、ハッとしました。息子にとっては「行く」ところである入善が、私にとっては今だに「帰る」と言ったように、心の拠り所であることに、改めて気付かされたからです。

早いもので、私が入善の町を離れてから14年の歳月が流れました。時たま帰る入善町は随分と発展し、自然も変化したように思われます。子どものころ、じれったいほど長く感じた熱い砂浜も今はなく、



愛場明子さん

## 『ハマに住む入善っ子』



旧姓―近藤、入膳出身。昭和45年入善高校を経て、昭和女子大学大学院を卒業。現在、聖和学院講師。  
横浜市戸塚区深谷町在住、32歳。

こちゃん。何時帰らっしゃったか」と、そこだけ時が流れていなかったかのように親しく声を掛けてもらった時なのです。

今、私は湘南海岸や鎌倉にほど近い横浜に住んでいます。当初、回りには親しい人もなく、入善の事はかり想い出していました。しかし生活にも慣れ、この土地の良さに気付くようになってから、徐徐にはあれ、愛着もわいてきました。

震災・戦災と、2度にわたり焼け野原となった横浜には、歴史を残す建物ほとんどありません。でも、その残り少ない歴史を、街の中やハマッ子の心の中に残そうとしています。舗道に組み込まれた1枚1枚の絵タイルや、数々の資料館がその良い例です。また、自然を利用した公園も保護され、計画的な市民の森も、都市化の中で私たちの憩いの場となっています。新しい街の中で、自然と歴史を大切にしている横浜を、第二のふるさとにしたいと思っています。

私の第一のふるさと――それは言うまでもなく、入善です。入善の出身者として、町の発展は嬉しいものです。願わくば、発展に伴い、素晴らしい自然や歴史、そして厚い人情の失われることのないことを。常に「帰る」場所――第一のふるさととして、在り続けて欲しいと思います。



# グループ登場



「優勝できたのも、勝ち運に恵まれていたからでしょうね」と話すのは、去る6月30日の町長杯ナイターソフトボール大会決勝戦（Aクラス）で優勝した「邑町Bチーム」のみなさんです。

決勝戦は、昨年の大会の準決勝で苦汁をなめた一宿チーム。「昨年の優勝チームが相手だけに、われわれも思い切って対戦しました。結局、16対11で勝ちましたけど、

最後まで予断を許さぬ打撃戦でした」と、メンバー全員いかに嬉しそうです。

大会が開幕したのは4月24日、決勝戦の6月30日まで丸2か月間という長丁場。参加チーム数も、Aクラスが32、Bクラスが52の合計84チーム。つまり1千500人前後が夜の運動公園に足を運んだ計算になります。

その頂点に立った感想はいかに

——。監督の草島清一さん（会社員・34歳）は「過去3回の大会はいずれも小摺戸地区のチームが優勝しており、今回、上原に優勝カップを持ってこれて嬉しい。来年もガッツで頑張ります」と、真っ黒に日焼けした顔がとてもさわやかでした。

Bクラスでは徳友会チーム（浦山新）が優勝しました。

## 町長杯ナイターソフト(Aクラス)で初優勝を飾った

### 邑町Bチーム(上原地区)

## あなたと図書館

### ぜひ、一読を!! 「飛んでいった千羽鶴」など

#### 青木健作氏(柗山出身)の著書



柗山出身で、「思い出の子ども遊び」などの著者の青木健作氏が「飛んでいった千羽鶴」「西陣手織り一代」と、続けて本を出版されました。

「飛んでいった千羽鶴」は、へ士志田和枝さんの愛と死」という副題があるように、アメリカ軍のジェット機で我が家を焼かれ、2人の愛児を失ったうえ、自身も4年

余りの闘病の末に、ついに逝ってしまった若き母親の物語です。

『手術の痛さ、闘病生活の辛さが、どんなにひどいものであったのか、それに耐えて生きようとした彼女の意志と姿とが、浮き彫りにされている。彼女の悲しさ、苦しきや口惜しさを、あらためて思うとともに、こんなむごいことがあつていいものか、と憤りを感じさせる』と、読売新聞の書評にありましたが、ジェット機さえ落ちなければ、今頃は二人の男の子に囲まれた賑やかな家庭が、彼女にもあつたはずで、夏休みを機会に母子で読んでもらいたい本の1冊です。

「西陣手織り一代」は、千数百年の歴史を持つ西陣織の職人である西田小雪さんの一生を「聞き書き」形式で書き綴ってあります。まろやかな京言葉が、読者の心をやわらかく包み込み、いつのまにか、西田さんの側でお話を聞いているような錯覚を起こしてしまいます。それにもまして心打たれるのは、「人間がほんとうに必要なとする物を心をこめてつくる」という西田さんの仕事に向う姿勢が、随所にあふれていることです。京都の四季の移り変わりを横糸に、西田さんの一生を縦糸に織りなすこの本の構成も、読者の心を魅了することでしょう。一読をお勧めします。

### 田中忠一氏(入膳)も「粟」を自費出版

#### 米沢紋三郎翁の回想録

入膳10区の田中忠一氏が、このほど米沢紋三郎翁と元健父子の回想録「粟(しおり)」(A5判76ページ)を自費出版されました。購入ご希望のかたは、図書館であつせんいただきます。(定価700円)

## 新着図書案内

### 〈小説〉

地の果て至上の時  
花ホテル  
聖家族  
水なき雲  
女優(上・下)  
地上を旅する者  
弓削道鏡

次健中  
枝弓平  
三啓岩  
子綾日  
一淳浦  
枝富大  
光東今  
喬井  
勉水上

### 〈一般図書〉

家康、秀吉、信長から今  
学ぶか  
立山の平蔵三代  
仕事に生きる男の魅力と  
事実からの発想  
自民党を20倍おもしろく

を夫  
一峻野  
林何  
健か  
邦二  
本男  
柳柳  
見柳  
池本久





## 古い写真と原稿をお寄せください

私たちの歩みを、このページに

町民のみなさんはもうご存知のことと思いますが、入善町は昭和28年10月、入善町、上原村、青木村、飯野村、小摺戸村、新屋村、櫛山村、横山村の1町7か村が合併しました。そして5年後の34年1月、野中分離地区を含む舟見町が編入合併し、現在に至っています。

あれから30年を経た昭和58年。町では、この合併30周年を祝ってさまざまな記念行事を計画しているところです。

広報係でもこれと併せて、『わがまち今昔』『30年とわたし』というテーマで、私たちの歩みを振り返ってみたいと思います。

『わがまち今昔』では、昔の写真と現在の姿を見比べます。古い写真をぜひ提供してください。

『30年とわたし』では、あなた自身の30年をつづってください。

あて先は、役場広報係(☎72-1100 内線39番)です。

昔から「十年一昔」といいますが、30年過ぎ去ってみると大昔のように思えます。してみると、随分と長生きしたものとつくづく感じます。

今から30年前といえは昭和28年。ちょうど町村合併の最盛期でして、「どの町につくか」で議会が紛糾するなど、明けても暮れても合併のことばかりでした。

N村では晩議会となり、議長がしばらく身を隠すや否や、まるで赤穂四十七士の吉良邸討入りみたいに、全員で探し出し、「見つかったぞ」と、皆かけ寄る有様でした。

またA村では、合併賛成・反対が7対7の同数となり、議長の1票が勝敗を決したのも、今思えばナンセンスに過ぎない物語になりました。当時の町長も助役も議長も、今は草葉の陰で前途を見守っておられることでしょう。

さて、役場職員だった私の当時の給料は、1か月たったの8千円そこそこ。職員が少なく、徹夜で仕事をすることもしばしばあり、「残業手当もないのに、よく働いたものだ」と痛感します。今振り返ってみると、夢物語に過ぎません。

また、冬期間は除雪車もあまり

運行されず、12月のドカ雪で根雪となると、県道野中入善線の地鉄バスは真つ先に不通という事態に。ひどい時は、3月末まで雪道が馬の背中のようなデコボコ道となり、山手の職員はマントに身を包んで、すり減った長靴をはき、すべりながらとぼとぼと通動したことも、すべて昔の物語となりました。

「56豪雪は38豪雪を上回った」との報道もありましたが、それは降雪量だけのこと。現在どんなに雪が降っても2・3日すれば、幹線道路には跡形も無くなり、あと30年経つと「一体どうなるんだろう」と、ただ驚くばかりです。

さて、夢中で過ごしてきたこの30年を振り返って思うことは、「健康がいちばん大切だ」ということです。健康な日々を送れることに感謝し、微力ながらも地域の発展のために尽くせたらと思う今日このごろです。



30年とわたし

## 『すべてが昔の物語』

入江安正さん  
(舟見・67歳)

## 編集室

▼テレビ番組「それは秘密です」でお馴染みの桂小金治師匠の講演会が、7月17日、入善中学校でありました。演題は「良い子を育てる親の工夫」――。

▼要約すると、「自分の子どもを良くするも悪くするも親次第である。悪いことをすればハッキリと叱る。そのためにも、昔から子どもは親の背中を見て育つ」と言われるように、子どもの鏡となるような言動が大切だ」として「子育ては、手で言葉で心でやりなさい」と強調されました。

▼講演会が終わった後、詰めかけた約500人の聴衆の顔には「よし、今日からオレもやってみるか、私もやってみようかしら」といった表情が感じ取れました。

| 今月の人口 |              |        |            |
|-------|--------------|--------|------------|
| 人口    | 29,766 (△9)  | 29,717 |            |
| 男     | 14,218 (△21) | 14,199 |            |
| 女     | 15,548 (+12) | 15,518 |            |
| 世帯数   | 7,662 (△10)  | 7,416  |            |
|       | ( )内は前月比     |        | 前年同月       |
|       |              |        | 7月1日現在住民登録 |